

# R6年度 ガイドライン評価改善シート

施設名 ( I P P O うめ園 ) 作成日時 (令和6年10月4日)

代表	施設長	本部
副	主任	課長

<b>R6年度 改善への取り組み</b>	・保護者の方に療育の理解を深めていただけるように丁寧に取り組んでいく
<b>今年度の施設目標</b>	・IPPOの療育活動に理解を得ていただける場を設けていく ・各関係機関との交流の充実 ・保護者同士の連携を深める

項目	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での共通点	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での相違点
<b>環境・体制整備</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動のスペースは確保されている</li> <li>職員の配置数、専門性は適切である</li> <li>手摺は設置済みである 玄関はスロープではない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの活動のスペースが確保されていない</li> <li>設備等、バリアフリー化の配慮が適切でない</li> </ul>
<b>業務改善</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月/1にて研修の時間を確保し職員の療育の資質向上に努めている</li> <li>PDCAサイクルに職員は広く参画している</li> <li>保護者の意向等を把握し業務改善につなげていけるようにしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の意見も踏まえ目標達成の業務改善に努めていく</li> </ul>
<b>適切な支援の提供</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援者は障がい特性を常に理解することを軸としアセスメントから始め、個の指導、支援を個別化している</li> <li>個の課題、集団活動では支援者のチームが協働し活動を設定している。また社会的アセスメントを基にコミュニケーションの場を設定している</li> <li>個の生活プログラムを生シナリオとして作成し一日の活動の時間配分、流れに個別化している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの生活空間が清潔で心地よく過ごせる環境になっていない</li> </ul>
<b>関係機関や保護者との連携</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな機関との連携は常に行っている</li> <li>就学に向けての幼保とのやりとり、学校教育課との連携を行っている</li> <li>幼保との交流として計画は実行されていない</li> <li>家族支援プログラムとして掲げて保護者への支援は行っていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>
<b>保護者への説明責任等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者との面談の中で個の特性や支援の方向性、課題等を、画像を見ながら子供の発達段階を共通認識できるようにしている</li> <li>幼保との交流計画は実行されていない</li> <li>家族支援プログラムとして掲げた支援を行っていない</li> <li>保護者会の計画をまだ実行できていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保との交流がない</li> <li>・家族支援プログラムが行われていない</li> <li>・保護者会等の開催・保護者同士の連携が支援されていない</li> </ul>
<b>非常時等の対応</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報等は十分配慮している</li> <li>非常時の冊子は保護者に配布している</li> <li>発生を想定した訓練は年5回おこなっている</li> <li>個別、グループ活動で防災演習のかぶり方・やくそくを確認している</li> <li>子供の感染状況もしくは、他の園の感染症増加についても保護者に周知している</li> <li>定期的にIPPO便り・よみみち・ホームページ等を発信している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>



分析検討してみた事業所の強み	分析検討してみた事業所の改善点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本児の特性とそれともなう指導と支援計画を書き出すことを大切にしている</li> <li>・特性を軸としアセスメントを行い、生活内容・生活リズム・社会的場面・課題等を個別化し支援している</li> <li>・個々によって1階2階とに振り分け構造化、生活シナリオにて個別のスケジュールでのワークシステムを活用している</li> <li>・感覚・ボディイメージの形成・手指の分化の形成・身体を大きく使う粗大運動・手先指に微細運動などの感覚統合の活動を個別もしくは集団活動に取り組んでいる</li> <li>・集団活動は、運動の活動と社会性の活動を取り入れられている 活動内容は支援者のチームが協働し活動内容の計画を設定し実行している</li> <li>・社会性レベルのアセスメントをし個々に合わせたコミュニケーションの遊びの場面を設定している</li> <li>・個のモニタリングを行い見直し、支援の共有と統一を心がけている</li> <li>・専門家によるコンサルテーションや研修に参加、外部への研修参加を積極的にに行い支援者としてのスキルの向上に努めている</li> <li>・就学に向けての準備を個別もしくは集団で活動として取り組んでいる</li> <li>・保護者の疑問・不安などに関しての相談はその都度行うようにしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育をするにあたって、療育とは？の意味が保護者に理解されていない点</li> <li>・子供たちが活動をするエリアの使いかた、何故狭い空間でのエリアを設定しているのか等の説明の機会を作っていない点</li> <li>・構造化の必要性を保護者に向けて理解してもらっていない</li> <li>・幼保・他事業所等との交流機会がとれていない</li> <li>・懇談会等の開催が少なく、保護者同士の連携がとれていない</li> <li>・家族支援プログラムとして保護者には行っていない</li> </ul>

事業所の改善への取り組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保等との交流機会を改めて具体的に検討していきたいが、実際に何が目的で交流するのか？保護者が何の交流を求めているのか？を職員間での話し合いが必要</li> <li>・保護者の求めている交流が果たして幼保に受け入れられるのかも、要望によっては検討していく</li> <li>・一昨年までは交流を行っていたが、幼保の日程と合わせるのが難しい面があった。交流するにあたって幼保とも話し合いの場を設定し検討していく</li> <li>・外回りの環境整備は外に手摺を設置した 今の状況で玄関をスロープにする計画はない 室内はバリアフリーになっている</li> <li>・室内園回りは清掃等の時に確認しているが、再度徹底し職員全員で補修が必要なのか掃除が行き届いているのかを確認する</li> <li>・懇談会は計画ミスであり、保護者にはご迷惑をかけてしまっている。前年度父親の懇談会の要望も出ていたので今年度は土曜日に開催する計画を立てている</li> <li>・HAGの活動記録に日程内容を入れてある 12月にイベントもあるので全部を第3土曜日に設定している</li> <li>・支援計画の面談が終わるのが9月後半なので、10月と11月に計画している。(懇談会)</li> <li>・年長児の保護者・卒園した保護者からの就学を決めるまでの気持ち経緯等を話してもらおう懇談会も考えていきたい</li> <li>・保護者同士の連携には成り立っていなかった。保護者の求めている連携とは一体なんなのかを懇談会等でお話を聞きながら改善していく</li> </ul>

自己評価を行っている事業所としての感想など
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度新規利用の保護者への説明会を初めて開催 今までコロナ感染があり2年越しの開催であったので気持ち的にもあれもこれも話したいと思ながらも話したいことを整理できずにいたので保護者には伝えきれない事がわかった。</li> <li>・短い時間の中で欲張ってはいけないと反省しました。</li> <li>・保護者が見学に来られるのは利用前に1回であり、その後は事業所内を見学することはないのでこちら側が意図的に見学を案内し説明をする機会を設定する必要性を感じました。</li> <li>・懇談会の中でどのように子供たちがワークシステムで動いているのかを説明できればと考えている</li> <li>・保護者懇談会については場所を考えたらず中で、多数の保護者に参加してもらうためにはどうすればいいのかと考察しているときに思い切って休日にすれば参加率が望めるんじゃないかと思いついて休日に計画を立てて行う予定である。</li> <li>・父親の懇談会は開催したことはないで、どのようにすすめていけばいいのか模索中でもあるがやってみないとわからないのでまずは実行したいと思います</li> <li>・保護者と支援者の連携がしっかり取れたうえで保護者同士の連携が成り立っていくのだと感じている</li> <li>・現状は、保護者からの連絡で相談を行っているが相談日として設定したほうが良いのかを考えていきたい</li> </ul>

<b>来年度の施設目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一つの場面でできた事をさまざまな場面で同じようにできることを目標に自立の広がり大切にしてい</li> <li>・保護者の多様な声に寄り添い良好な関係ができるよう努めていく</li> </ul>
-----------------	--